

2021年度（令和3年度）事業方針 及び 計画

（2021年4月1日～2022年3月31日）

認定特定非営利活動法人こまちぷらす

I 事業の活動方針

2021年度は、法人のビジョンにも掲げている「まちの力」をより意識し、子育て環境を豊かにしていくための事業展開を実施していく。

そのために、まず1つ目にすべての事業において「参加」の余白をこれまで以上に意識して、多くの子育て当事者やまちの方・商店・企業等多主体の人と事業を創っていく。つながりデザイン事業部では様々な参加とそのコーディネーションについて常にその在り方を模索し、部門間で共有し各部門ではその事業や関わるスタッフ一人一人の特性を活かしながら実践に落とし込んでいく。ウェルカムベビープロジェクトでは「まちからウェルカムベビー」を合言葉に、コロナ禍だからこそまちの人たちと出産祝いをつくり、産後の家庭とまちとの接点が生まれるようなことを創っていく。また2つ目に、コロナ禍でこれまで以上に孤立感を深める人や新たな暮らし方・働き方・子育ての仕方を模索している人が増えている状況を踏まえ、これまで以上に多様な人に向けてのアウトリーチを実施していく。具体的には、場の魅力を高めることやオンライン事業（産前産後の講座・子育て中の方々同士をつなげる対話の場・3枚の葉っぱを活用したオンライン対話の場・オンラインショップでお菓子や雑貨販売等）を通して強化していく。3つ目に、5年で居場所（主にカフェ型）のノウハウを100か所に展開することやウェルカムベビープロジェクトを10地域に展開をしていくため、内部でノウハウの洗い出しや展開に向けての基盤強化に力を入れる。具体的には、みてね基金を活用しながら内部研修を重ね自分たちの実践を言語化し、コンサルティングできるチームをつくり、展開した先々の居場所と学びあうためのコミュニティ設計をしていく。最後に、在宅勤務やオンラインでの事業が増えているからこそその内部コミュニケーションやミーティングの在り方にも工夫を重ね、研修の実施、法人全体の事務局の体制強化、コアメンバーにも多様な人（小さな子どもがいる当事者・プロボノ・学生・副業人材等）が関われるような組織づくりも実践していく。

<事業内容>

I 子育て情報の提供

1. 地域子育てカレンダー事業

- ・内容：【概要】地域の子育て情報を、地域子育て支援拠点との連携により収集し、ネット上に毎月100～200件ほどデータベース化しネット検索できるよう掲載。地域別、テーマ別、キーワード毎に検索ができるようになっている。自宅からなかなか出られない出産直後や転入など、地域情報にたどりつき辛い子育て当事者に向けて、地域の施設が発行しているチラシ情報をネット上で検索できる状態にすることで、孤立の解消につなげることが狙い。拠点運営法人より受託、実施。

【2021年度の取り組み】

2021年度も、これまで通りチラシをwebから閲覧できるように内容を逐次入力することを継続していく。「情報入手」と「情報公開」までのタイムラグを削減する工夫を継続しながらお互いに連携を図れるような工夫をしていく。また、求めている情報がすぐに検索できるよう、検索ワードの入力の工夫、ユーザーの声や作業を通して感じたことをチーム内で共有していくことも継続する。そして、

地域こそだてカレンダーに関わっているメンバー1人1人が無理なく関われるように、報告・連絡・相談、意見交換がしやすい環境を整えてチームワークを強化しつつ、より多くの旬な情報をお届けできるようにしていく。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区内
- ・従事者人員：6名
- ・受益対象者：区内外の母子中心に、のべ40,000名程度
- ・支出額：216,176円

2. とつかの子育て応援ルームとことこ 情報スペース運営事業

- ・内容：【概要】年間約1万人以上が来場する、戸塚区役所内にある子育て情報発信及び託児機能をもつ施設において、情報発信スペースの運営を拠点運営法人より受託、実施。1人の情報コンシェルジュが常駐し、月間100件ほどの相談を傾聴、区役所の窓口含め必要な支援や情報に案内している。ベビーカーレンタルや体重計の貸し出し等も実施している。

【2021年度の取り組み】

ゆるやかな子育て支援の入り口として、ハードル低く相談のできる場を継続していく。目的がなくても気軽に立ち寄ることができるよう、外側の掲示を見やすくし、来場者参加型の取り組みを行うなど、とことこに行きたくなるようなしかけを作る。業務マニュアルを整備し直し、全スタッフのPC業務のスキル、傾聴スキルを向上させる。また日々更新される情報の共有やヒヤリハットの報告を積極的に行い、適切な情報提供を行うようにする。母子保健コーディネーターとの連携をすすめ、妊娠期から子育て期にわたって切れ目のない支援を意識した相談対応を行う。特に出産後や転入など孤立しやすい時期に、外出のきっかけとなるような場所をめざす。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町16-17
- ・従事者人員：4名
- ・受益対象者：区内外の親子中心に、のべ9,600名
- ・支出額：1,834,540円

II. 子育てをしている人、子ども、地域の人が思いを言語化し、つながりをサポートする場づくり

- ・内容：【概要】日祝日を除く毎日（月曜日～土曜日）戸塚駅から徒歩7分のところで「こまちカフェ」という居場所を運営。飲食の提供、雑貨の販売、イベント企画を通して子育て中の母親のリフレッシュや外出動機の創出、仲間づくりのきっかけづくり、気持ちを言語化できる機会づくり、新たな情報や視点との出会いの場をつくっている。当事者や支援者・企業・行政等様々な主体の人の「ニーズ」や「できること」が集まり、コーディネーションをしながら活気のある場をつくっている。この部門では主に、飲食の提供を通じた豊かな居場所づくりをしている。

【2021年度の取り組み】

6月施行される HACCP に取り組み、より衛生と安全に気を付けて日々営業し、安定した品質の食事を提供しながら、主に子育て当事者へのリフレッシュの機会と外出動機の創出につとめる。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策のため、日々状況に応じてカフェの飲食提供の安全が確保されるまで状況を見極める他、お弁当販売を引き続き行う。バリエーション豊富なメニューの提供・スイーツの販売なども行う。日本各地からの視察やボランティアのオンラインでの受け入れも行い、また多世代の参加する機会、学生ボランティアやインターンなども受け入れられるよう、体制を整える。来店が難しい方へも楽しんでもらえるよう、オンラインショップの商品の充実も行う。テーマを持たせ、より楽しんでもらえるよう、季節ごとのお菓子の販売や珈琲とのセット販売など、商品開発を行う。これまでこまちカフェへの来店が敵わなかった遠方の方への販売やプレゼントにも対応していく。その他戸塚（野菜）の魅力を伝えられるよう外部と連携しながら、イベント等も行う。

- ・ 日時：通年
- ・ 場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・ 従事者人員：40 名
- ・ 受益対象者：区内外の母子中心に、のべ 9,000 名程度
- ・ 支出額：11,712,680 円

III. 社会から孤立しがちな当事者・支援する人の学びあい事業

1. 「でこぼこの会」（発達障がいをもつ子どもの親を対象に情報発信・イベント実施）

- ・ 内容：【概要】毎月 1 回、お子さんの発達に不安を持つ親、支援者、当事者の方が集まり、お話会と依頼した講師による勉強会を交互に開催。

【2021 年度の取り組み】2021 年度も、お話会と勉強会を交互に開催。前年度、開催予定だった理学療法士の先生の講座が緊急事態宣言のため中止となったので、今年はオンラインで勉強会として開催予定。平日仕事をしている保護者も参加しやすいよう開催日を通常の日曜日ではなく、日曜日に行う。昨年からの準備を進めていたでこぼこの会の葉っぱ（参加者の声を集めたもの）を完成させて、それを使ってのワークを計画している。尚、新型コロナウイルス拡大防止のため、今後も状況に応じてオンラインかオフラインでの開催かを決めていく。

- ・ 日時：通年
- ・ 場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・ 従事者人員：3 名
- ・ 受益対象者：区内外の母子中心に、のべ 100 名程度
- ・ 支出額：74,374 円

2. ケアラーズカフェ「えんがわ」（子育てと介護を同時に抱える家庭や親の介護等について関心がある家庭向けの事業）

- ・ 内容：【概要】子育て世代が直面する親の介護について、必要な情報に出会えることや、自身の思いを話し合える場をつくる。

【2021 年度の取り組み】

2021 年度も「子育ても介護も一人で抱えない」「介護者が自分自身を大切にする」ことを目指して活動する。オンライン開催とこまちカフェでの開催の両方に対応しながら、ダブルケアの方が必要な情報に出会い、思いを話し合い聞きあえるようなきっかけとなるテーマを取り入れながら開催する。また、講演会の実施により、広くえんがわの取り組みやダブルケアについて周知する機会も設ける。

- ・ 日時：通年
- ・ 場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・ 従事者人員：1 名
- ・ 受益対象者： 子育て中の親、介護中の方、高齢者、支援者等、のべ 60 名程度
- ・ 支出額：51,543 円

3. 「～不登校・ひきこもりの親ができること～ほっとひと息金曜日」

（不登校・ひきこもり学齢期児童の家族向け事業）

- ・ 内容：【概要】月 1 回金曜日午後、年 2 回土曜日夜に、不登校ひきこもり児童・生徒（学齢期）の家族の方がお互いの今の心情を安心して話すことができる場を提供。

【2021 年度の取り組み】

2021 年度も引き続きお互いの気持ちを共有し情報を得ることで、自信と元気を取り戻していただく場にする。また SNS 発信や「街のとまり木」の活動を通じて家から出られない親子の外出機会をつくる。夜のカフェイベントスペースを利用し、子どもたちが安心して自由に過ごせる場所を開催する準備を進める。戸塚区ふれあい助成金の助成を受け（2021/4/現在申請中）、地域との連携を深めながら実施する。

- ・ 日時：4 月 17 日、5 月 21 日、6 月 18 日、7 月 17 日、8 月 20 日、9 月 17 日、10 月 16 日、11 月 19 日、12 月 17 日、1 月 15 日、2 月 18 日、3 月 18 日
- ・ 場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・ 従事者人員：2 名
- ・ 受益対象者：不登校の児童の親、支援者等のべ 70 名程度
- ・ 支出額：55,822 円

IV. 社会とつながりたい人が社会で活躍できる場・貢献の場を見出すためのチャレンジ事業

1. 特技を活かし、地域に貢献を考える子育て中の母親に対するサポート事業

- ・ 内容：【概要】こまちカフェにて、イベントスペース・カフェスペースの貸出を通して起業支援や情報発信支援を実施。

【2021 年度取り組み】 イベントスペース・カフェスペースの貸出を継続して行い、ゆるやかな起業支援や情報発信の場、子育て世帯同士のつながりの場となるよう努める。特に、午後や夕方の時間帯のイベントの充実を図り、これまで以上に幅広い年齢層・ライフスタイルに対応したイベントの企画と実施を目指す。また、新しい生活様式に基づき、オンラインイベントの発信の場と

なるよう取り組んでいく。ご利用いただいている契約者のイベントについては、SNS を利用した告知・集客の新たなサービスや、導入した機材を活用した配信サービスなど、カフェでもオンラインでもイベントが活発に行えるような幅の広い支援を行い、イベントの場を貸出・提供するだけでないこまちカフェならではのレンタルスペースの価値を高めたい。契約者の交流会を定期的に開催し、情報の共有をしたり意見を交換したりすることで、イベント内容や運営方法の充実を図る。毎月発行しているイベントカレンダーチラシについては、これまでこまちに足を運んだことのない方にも手に取って頂けるような紙面づくりを心がけ、より多くの方に情報が届くよう配架場所・方法にも配慮したい。また、カフェ全体と連携しながらイベント内容の共有と来店者へのイベントの紹介を行い、多くの子育て世帯や市民の方が居場所に足を運ぶきっかけになるよう努める。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：4 名
- ・受益対象者：起業、教室開催を考えている方及び一般市民等、のべ 830 名程度（オンライン参加者を除く）
- ・支出額：855,212 円

2. 子育て中の母が特技を活かし生きがい及び仲間づくりのために作成した飲食物・手づくり品の販売

- ・内容：【概要】こまちカフェ内スペースにて、子育て中の方を中心とした市民がつくった手づくり雑貨を販売。地域の方の外出動機の創出につながり、また、子育て中の方々の得意が活きる場づくりにもつながっている。0 か 1 ではない働き方（自宅にしながら働ける一つのスタイル）の提案の場にもなっている。

【2021 年度の取り組み】

引き続き、年間を通してこまちカフェでの手づくり雑貨展示販売を行い、近隣の方のみならず、遠方の方にとっても、特技が活かせる場となるよう努める。店舗販売に加え、こまちぷらすオンラインショップでの販売や、リアルな場での手づくり雑貨展示即売会を年 4 回開催、近隣のショッピングモールへのマルシェ継続出店を行い、地域外や子育て世代以外の人など、幅広い世代の方にこまちカフェや haco+ を知ってもらう機会を増やす。展示即売会では季節に合わせたテーマに沿って、手づくり作品の店頭販売・オンラインショップ販売・こまちカフェでのスイーツメニューの展開を同時に行い、カフェとの連携をはかりながらイベントを盛り上げ、より多くの集客と市民の活躍の場を作る。さらに、リアルな場のほか、SNS や YouTube 配信でも積極的な発信を継続する。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：4 名
- ・受益対象者：手づくり小物を地域でつくる方及び一般市民等、のべ 1,500 名程度
- ・支出額：788,388 円

V. 地域の多様な主体が互いに連携・協働し、コミュニティの活性化を推進するためのコーディネート事業

1. ウェルカムベビープロジェクト

- ・内容：【概要】「子どもの誕生・子育てを歓迎する文化の醸成」を願い、出産祝いを地域の人々や企業商店とつくり、届ける事業を実施。事務局をヤマト運輸株式会社神奈川主管支店とともに務める。横浜市こども青少年局後援事業。出産祝いは戸塚区及び鶴見区在住の赤ちゃんが生まれた世帯のうち、申し込みがある世帯へ無料で、ヤマト運輸株式会社が毎月およそ 70 件（戸塚区 50 件程、鶴見区 20 件程）届けている。プレゼントは選考会にて 4 人の選考委員により認定されたものが入る。このプロジェクトの資金はすべて民間財源（協賛金や寄付、自主事業収入）でまかなわれており、行政と連携し実施している。住民や企業商店等様々な人が子育てに関わるきっかけとなるよう設計し、その関わりと連携により新たな社会インフラ（子育てが豊かになっていくようなコト・モノ・サービス・制度）を生み出していくことも目指している。一例として、このプロジェクトからおむつ自動販売機が開発され、産院とのプレママ・プレパパ教室の開催が生まれている。2020 年度から千葉県松戸市でも展開を開始。

【2021 年度の取り組み】

○出産祝い部門

出産祝いのお申し込み方法の見直しとリニューアルに伴い ID とパスワードの配布は終了し、ウェブサイトからの直接の申し込みを可能とする（2021 年 3 月から開始）。本年度は、申し込み数がどのように変化するか注視していき、さらに多くの人に出産祝いが届けられることを目指す。また、受け取ったご家庭に地域の方々や企業商店の思いをお伝えできるような方法を検討する他、おしゃべり会のご案内やご感想をうかがうなどその後につながるコミュニケーションも取り入れたい。鶴見支部や松戸支部とも学びあいながら今後さらに「まちからウェルカムベビー」となるよう出産祝いのつくる過程や届ける過程を工夫する。

○産前部門

産院との協働開催を年 2 回実施し、共に同じ地域で子育てをする親同士が産前から知り合い、家庭だけで抱え込まずに子育てしていけることにつなげる機会とする。また、こまちぷらす主催の事業については、産前産後の方のニーズ等をふまえて実施を検討する。

○産後部門

おしゃべり会「マタニティ＋産後ママ会」をオンラインにて月 3 回、こまちカフェにて月 1 回開催（頻度や開催形態については、都度見直し予定）。オンラインでは、外出が難しい方にも自宅から参加していただける機会として開催しながら、こまちカフェにて実際に会ってつながれる機会と双方で行う。また、子育て中の方の必要としている情報や日々の心配ごとなど、生の声を拾いながら、事業全体の今後にも活かしていく。

○創発部門

本プロジェクトに協賛いただいている企業の皆様と、それぞれが感じている課題感や様々な生活者の声を共有しながら、「赤ちゃんの誕生を祝福し子育てを応援する社会」に近づけるようなものやサービスの創発につながるよう、情報交換等を行う。

- ・日時：通年

- ・場所：神奈川県横浜市を中心に、全国
- ・従事者人員：9 名
- ・受益対象者：戸塚区・鶴見区で生まれた赤ちゃんのご家庭の方、700 名程度
企業、一般市民などおよそのべ 700 名、計のべ 1400 名程度
- ・支出額：4,962,554 円

2. つながりデザインプロジェクト

- ・内容：【概要】カフェの場からまちの担い手生まれる取り組み。居場所におけるコーディネーターの育成、活気のあるボランティア活動を通じた参加と対話の機会をつくる。

【2021 年度の取り組み】

2019 年度まで開催してきた、「こまちパートナー登録説明会」等の居場所づくりと、参画しやすい仕組みのデザインを他部門との連携を引き続き強化しながら継続する。加えて、今年度はパートナー登録をする前にも気軽にお手伝いや意見交換する機会も設けることで、新たな参加の機会をつくる。また、パートナー同士が交流や研修会を行う「ぶらす交流会」では、他地域を含め、様々な居場所やそこで活躍する人との接点やつながりの機会をパートナーの方々と一緒に考える。他団体や企業連携で、まちでの参加の機会もつくる。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：3 名
- ・受益対象者：乳幼児や学齢期の子どもを育てる親、商店、企業、支援者等、のべ 200 名程度
- ・支出額：1,304,885 円

3. 戸塚宿ほのぼの商和会事務局

- ・内容：【概要】約 85 名の会員がいる戸塚の商店会の事務局をつとめる。その事務局機能をつとめながら、子育てに必要なまちのインフラを考え提案をしている。

【2021 年度の取り組み】

「こども・高齢者・障がいをもった人も誇りと居場所と出番を感じられる地域」を商店会としてビジョンを持ち、こまちぶらすとしてもその事務局機能を担いながら商店と子育てしやすい環境について考え提案をしていく。定例会や懇親会も引き続き開催する。会員への情報発信を行うほか、通常業務に加え、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を引き続き行う。また商店会としてなにができるか、デリバリーなど持続可能な仕組みを考えていく。夏まつり、ほのぼのフェスタなどのイベントの開催はその時の状況により判断する。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区
- ・従事者人員：3 名
- ・受益対象者：85 名
- ・支出額：939,360 円

VI 孤立しない社会をつくるためのまちづくり・啓発・提言事業

- ・内容：【概要】各種講演や調査協力、機関誌寄稿、提言等を実施。

【2021 年度の取り組み】行政関係者、中間支援、市民団体の方、企業、学生等向けにこまちぷらすの活動やカフェでの実践等について話し、ビジョンの普及啓発に努める。2020 年度に引き続きオンライン開催も活用しながら、広域的な発信にもつなげる。また、これまでつながりデザインプロジェクトの取り組みとして開催してきた連続講座「居場所づくり学びあい講座」をベースに、全国にカフェ型居場所が増えるようなノウハウの展開、受講生どうしのネットワーク作り等にみてね基金の助成を受けて取り組む。

また、2020 年度に WAM 助成金を活用して開発した葉っぱのウェブページの活用を様々な団体が導入できるような仕組みを作る他、「3 枚の葉っぱ」ファシリテーター養成講座の開催に、他団体や行政との連携の両方で取り組む。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県、東京都等
- ・従事者人員：6 名
- ・受益対象者：行政、団体や企業、子育て中の母親等、のべ 750 名程度
- ・支出額：3,456,304 円